

フラッグシップ輸出産地向け優遇措置（R7予算概算要求）

優先枠の設定

サプライチェーン連結強化プロジェクト事業（新規）

国内の生産事業者と海外の現地販売事業者、両者をつなぐ国内外の商社等で構成されるコンソーシアムが行う、生産から現地販売までの一気通貫した新たなサプライチェーンの構築に向けた取組を支援

➤ フラッグシップ輸出産地を含むコンソーシアムに優先枠を設置

補助上限額の上乗せ

大規模輸出産地モデル形成支援事業

海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換を通じた輸出産地のモデル形成等を支援

➤ フラッグシップ輸出産地に認定された産地が更なる輸出拡大に向け新たな取組を行う場合は、補助上限を引き上げて支援

食料システム構築計画のみなし認定

新基本法実装・農業構造転換支援事業 （強い農業づくり総合支援交付金）（新規・拡充）

実需者と産地をつなぐ拠点事業者と農業者が協働して策定する食料システム構築計画に基づく取組について、ソフト支援から施設整備まで一体的に支援

➤ 「食料システム構築計画」に代えて、フラッグシップ輸出産地における「輸出事業計画」に基づく取組を支援

優先採択（ポイント加算等）

1 みどりの食料システム戦略推進交付金のうち

◎ グリーンな栽培体系加速化事業

産地に適した「環境にやさしい栽培技術」等を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を加速化するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援

◎ 有機農業拠点創出・拡大加速化事業

有機農業の推進拠点となる地域（オーガニックビレッジ）を創出するため、生産から消費まで一貫して有機農業を推進する取組の試行や体制づくり、産地と消費地が連携した消費拡大の取組等を支援

2 ○データ駆動型農業の実践体制づくり支援

データに基づき栽培技術・経営の最適化を図る「データ駆動型農業」の実践を促進するため、産地としての取組体制の構築、データ収集、分析機器の活用、新規就農者の技術習得等を支援

3 ◎オープンイノベーション研究・実用化推進事業

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資する研究成果を創出し、社会実装を加速するため、産学官が連携して取り組む基礎研究や実用化研究を支援

4 ○スマート農業技術の開発・供給促進事業のうち

スマート生産方式SOP（標準作業手順書）作成研究（新規）

主要な営農類型や技術体系ごとに、スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系やサービス事業者を介した技術の運用方法等を検証し、標準化する取組を支援

5 ◎農業農村整備事業

水田の汎用化・畑地化や農地の大区画化、新たな農業水利システムの構築等を推進

6 ◎農地耕作条件改善事業

地域の多様なニーズに応じたきめ細かな耕作条件の改善、高収益作物への転換等をハードとソフトを組み合わせる支援

7 ◎農地利用効率化等支援交付金

地域計画の目標地図に位置付けられた者が経営改善に取り組む場合、必要な農業用機械・施設の導入を支援

8 ◎集落営農連携等強化促進事業

地域計画に位置づけられている集落営農の連携・合併に向けたビジョンづくり及びその実現に向けた具体的な取組（雇用、法人化、共同利用機械等の導入等）を支援

9 ◎輸出先国規制対応支援事業のうち 国際的に通用する認証等の新規取得

輸出先国・地域が求める輸入条件への対応や、輸出手続を円滑に進めるために必要となる国際的に通用する認証等の新規取得に係る経費を支援

※ ◎ 輸出事業計画の認定を受けた者に対する優遇措置に加えて、フラッグシップ輸出産地に対し、追加的に優遇措置を設ける事業
○ それ以外の事業